

消防法が改正されて全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

住宅用火災警報器の設置が義務付けされました！！



住宅用火災警報器とは？

住宅火災による煙・熱をいち早く発見し、警報ブザーや音声で居住者に火災を知らせる装置のことです。

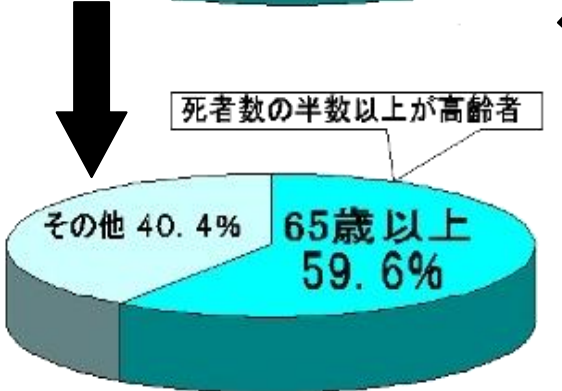
どうして住宅用火災警報器を設置するの？

火災の発生を早期に知らせて、あなたとあなたの家族の命を守ってくれるからです。

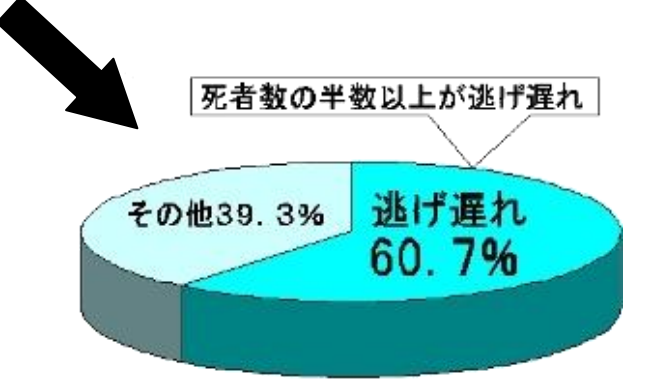
- ・平成22年度の建物火災における死者数は約1350人であり、9割は「住宅火災」で亡くなっています。
- ・死者数の約6割が逃げ遅れによるもの。
- ・死者数の半数以上が高齢者で、高齢者の死者数は約630人。



建物火災の死者のうち約9割が住宅火災

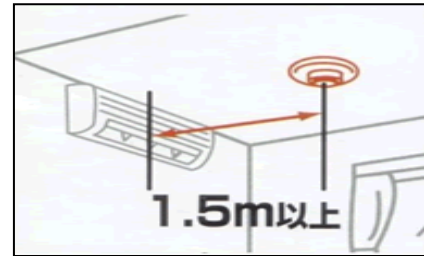


死者の約6割が65歳以上の高齢者

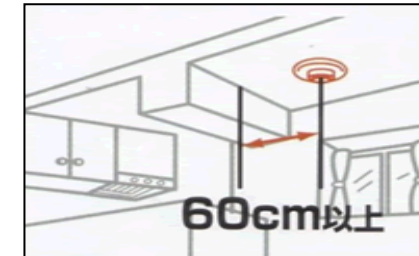


死亡原因の約6割が逃げ遅れ

設置する場所は？



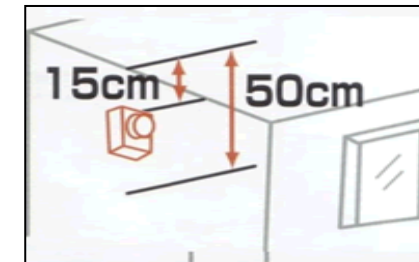
エアコンの吹出し口や換気口などから1.5m以上離しましょう。



はりがある場合は、60cm以上離れた位置に取り付けましょう。



壁面から住宅用火災警報器の中心が60cm離れるように取り付けましょう。



天井から15~50cm以内に住宅用火災警報器の中心がくるように取り付けましょう。

★この4つの条件に注意して、寝室に取り付けます。もし、寝室が2階にある場合は寝室につながる階段にも取り付けます。

悪質な訪問販売に注意！！

消防署では訪問販売をすることはありません。粗悪品や悪質な訪問販売には十分ご注意ください。

「つけて良かった！」住宅用火災警報器！！

(鶴居での事例) 家人が台所で家事をした際に誤ってガスコンロの点火スイッチを押してしまい、点火したことに気付かず外出。その後、ガスコンロ上にあった鍋が空焚き状態となり、室内に煙が発生し、住宅用火災警報器が作動、警報音に気付いた隣人が消防に通報しました。駆けつけた消防によってガスコンロのスイッチを切り、火はすぐに止められました。住宅用火災警報器のおかげで火災に至る前に発見することができました。

火の用心

(発行元)

釧路北部消防事務組合
鶴居消防署・鶴居消防団
鶴居西3-24
TEL 64-2344



購入の際は、「NSマーク」の付いているものが安心です。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせ先 → 鶴居消防署 予防広報係 TEL(64-2344)